

おおたでんき News

太田電機が携わっている
工事をご紹介します！

イマココ！

地元企業様の高圧設備改修工事をしてい
ます。大きな電気を使う工場や会社様の
変電設備は、定期的な保守点検や機器の
整備が必要です。
企業様の工場などが安全に稼働し、さら
なるご発展をしていただけるよう、電気
設備等の改修工事をいたします。
これからも太田電機工業所にご用命いた
だけるよう頑張っております。



住まいの アドバイス

ひとつ



今さらですが LEDのお得な理由

蛍光灯の生産が終了？
水銀を使ってる蛍光灯の使用は？

2020年の水銀防止法によって水銀灯の
生産に法的な規制が入り、微量の水銀を
含む蛍光灯も生産中止となりました。
(東芝、日立、パナソニックなど製造メーカーは
2019年から徐々に生産中止をしています。)
これまで家庭や店舗などで、広く利用さ
れていた蛍光灯は徐々にLEDに取り換え
られています。すぐに蛍光灯・蛍光ラン
プが使えなくなるということではありま
せんが、LED照明の方がメリットがあり
ます。



いいことづくめの
LED照明に取り換えて
いきましょう〜♪

消費電力が少ない

LEDは蛍光灯の約半分くらいの消費電力になります。
消費電力が少なくなれば電気代も安くなります。
実は照明は家庭や店舗の電気代の中でも大きな割合を
占めており、LEDに切り替えるだけでも電気代を15%
削減できるということになります。例えば毎月10万円
の電気代を支払っている店舗の場合は1ヶ月で15,000
円の削減、1年間で18万円の電気代削減に繋がります。

寿命が長い

LEDの寿命は40000時間だと言われています。
これは、1日10時間照明を点灯した場合、約11年間使
えるという計算になり、経費削減に繋がります。

放熱量が少ない

白熱灯などは特に放熱量が多く、夏場の室内の温度を上
げる原因にもなります。夏場はこの熱で上がった分だけ空調
で温度を下げる必要があり、エアコンの消費電力量の増加
にもつながります。一方のLEDは、ほとんど熱を発生させ
ないため、空調の電気代も削減できると言われています。

エアコン取付・修理も絶賛受付中！



でんきと水とエアコンの
(株) 太田電機工業所

阿久根市港町65番地4
TEL:0996-73-2800
出水市大野原町304番地
TEL:0996-63-1966



～ 自立した在宅生活と 介護負担の軽減を支援します～
ReLife り・らいふ通信

No.68 * 2021年7月号
(株)太田電機工業所 ケア・リフォーム暖家
(0996-73-2073)
鹿児島県指定 福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所
介護保険事業所番号4670600396

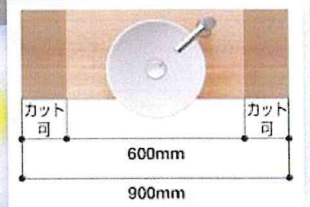
玄関に「どこでも手洗」 が選ばれています

昨年より新型コロナウイルス、変異型
コロナウイルスなどの影響で、私たち
の日常生活や、働き方までも変えざる
を得ない状況が続いています。
ワクチン接種をしても手洗い・うがい・
消毒や三密を避けるなど対策を取り続ける
ことが大切ですね。そんな今、話題なのは
LIXIL「どこでも手洗」。
学校や職場、買い物などから帰って洗面所
まで行かずに、すぐ手洗いがしたい、来客
には玄関先で手を洗ってから入室してほ
しいなどの声に応えた商品です。
(設置には場所の確認が必要です。
弊社など工事店にご相談ください。)

LIXIL商品のご紹介



手洗いが玄関脇に
あるととても便利！



子ども達も家に入ってすぐに
手洗いができて、ストレスが
減りました。手洗いの習慣が
より徹底できて、家族が安心
できることが一番うれしい！

福祉用具・介護用品の
3割引き！好評販売中！

介護保険住宅改修・福祉用具機器の
レンタル・販売はおまかせください！





第1回 お片付けの基本

日々を整えて いまいまライフを見つけよう~♪

今月から始めました当コーナーは
お部屋のリメイクや住宅のリフォーム
を考えていく上で、まず大切な整理
収納を、プロの視点でわかりやすく
楽しく一歩を始めるための提案です。
一緒に心地よい暮らしのヒントを
見つけていきましょう~♪♪

はじめまして。

整理収納アドバイザーの山崎真美（やまさきまみ）と申します。

ご縁あってこの度、ケア・リフォーム暖家さんの

【り・らいふ通信】でコラムを書かせて頂くことになりました。

皆様の、生活のヒントになるようなことをお伝え出来たらと思っています。

さて、皆さんは『整理収納アドバイザー』と言うお仕事をご存知でしょうか？近年、テレビでも沢山の仲間たちが活躍していますが、お客様のお宅で、実際に『片付けのお悩みに寄り添い、生活を楽にする片付けを促進していく』お手伝いをするお仕事です。全ての家庭が、間取りや家族構成が違うように、それらの情報を元に『片付け』の内容も進め方も変わって行きます。

① 小さなお子さんが多い家庭では、保育園や小学校へ持って行く持ち物や衣類も多く、子供たちが自分でわかる整理方法をおススメしています。例えば、
【ラベルを貼り、イラストで場所をわかりやすく】



② 2世帯以上で暮らすお宅では、共有で使用する在庫数も多いですね。（洗剤やトイレトーパー等の日用品など）収納部分が広くなければ、あらゆる物が床置きになったり廊下にそのままになってしまいます。家族数が多ければ多いほど、長く使用していないものをどうするのか？家族全員で、話し合う必要性もあります。

③ 高齢家庭のお宅は、荷物が多量傾向にあり、実際に使うモノは限られていることもあります。若い時に着ていた衣類をそのままにしているか？壊れたテレビや電化製品を自宅や倉庫で放置していないか？お薬や湿布を色々な場所に置いていないか？まずは『現在使用していないモノ』を見極めることも大切ですが『いつか使う(着る)から・・・』と横目で見ても、考えることを終えてはいけません。



あらゆるご家庭で整理のお手伝いをさせて頂いた私が

『片付けの基本』と考えるのは

『自分が、これをいくつ持っている把握していくこと』

が大切だと思っています。

例えば、マヨネーズとケチャップ、ラップの在庫は1本ずつハンカチは7枚、下着は夏、冬、それぞれ7組づつとか。生活必需品の数を把握せずに、ただ増えていく衣類や雑貨をそのままにしていると家はあっという間にモノで溢れてしまいます。

特に女性の方が、おしゃれな方も多く、衣類やマフラーに帽子やバックと男性よりも、持ち物が多いことが普通です。

だからこそ、モノを、厳選することも大切です。靴下を1枚買ったら、一番古くなったモノを処分する。引き出しが、閉まらなくなるまで押し込まない・・・

毎日、お洗濯を出来る環境下に暮らす方なら、1週間で、何枚あれば良いか？最後にこれを着たのはいつだろうか？ここより、あちらに収納した方が使いやすいかな？と冷静に考えて整理をすることも頭の体操になります。

コロナ禍の中で、家にいる時間も長い昨今です。この時間を前向きに捉え、少しでも快適な暮らしの導きとなりますように・・・

また来月も、暮らしのヒントをお届けしたいと思っています。



小物整理の一例



冷蔵庫整理の一例

講師プロフィール



山崎 真美
(やまさき まみ)

鹿児島市生まれ。鹿児島純心女子短期大学卒業後、MBC開発(株)不動産事業部に10年間勤務の後、結婚。

夫が経営する(有)エコテックでは整理収納のアドバイザーや

心地よい住まいの提案の他、出張整理業務も行っている。他に、半日型デイサービス・通所リハビリ施設レッツ倶楽部鹿児島を運営。住宅業界で培った、29年間の経験を生かし高齢者住宅における安全な収納の提案や、自身も思春期の子供をもつ視点から、子育て世代の収納の悩み解決など幅広い世代に向けて、整理収納を中心としたセミナーを各地で開催し好評を得ている。さつま町在住。

・整理収納アドバイザー1級・ルームスタイリスト1級
・介護環境整理士・整理収納教育士 他資格多種。